

東先生のフラワー・エッセンス

花図鑑

はなずかん

第3回 春の黄色い花たちのエッセンス



東 昭史 (あずま あきひと)

アロマテラピー業界での勤務を通じてフラワーエッセンスに出会う。大槻真一郎氏に師事。植物の特徴表示をテーマに、フラワーエッセンスを研究。各地でフラワーエッセンス講座を開講し、個人セッションを行う。2007年4月、著書『花と錬金術』出版。2008年1月フラワーエッセンス3回講座開催。

季節は移り変わり、寒さもやわらぎつつある今日この頃。春の訪れを告げ知らせるように、植物界でもさまざまな花が咲き始めます。春には明るい希望にみちた黄色い花が数多くみられます。ロウバイ、マンサク、サンシュユ、レンギョウ、フクジュソウ…。私たちのまわりでも、春先にはさまざまな黄色い花が咲いています。そこで今回は、春の黄色い花たちのエッセンスを紹介します。

○ Witch Hazel ウィッチ・ヘーゼル <エクストラシングルエッセンス>

シナマンサクから作られたエッセンスです。ウィッチ・ヘーゼルのエッセンスを必要とするのは「頑張り屋さん」。いつでも他人に喜んでもらい、まわりの期待に応えようとして努力し続ける人です。このような人をもっと気楽にさせてくれるのがウィッチ・ヘーゼルです。シナマンサクの花期は早く、日本では1月のうちから咲きはじめます。早春、他の木がまだ眠っているうちから花を咲かせるのは、私たちが喜ばせようとして、頑張っているのかもしれない。

○ Forsythia フォーサイシア <エクストラシングルエッセンス>

レンギョウとシナレンギョウを交配して作出したインテルメディア種から作られたエッセンスです。フォーサイシアは自分自身のスピリチュアルな資質に対して心を開くことを助けてくれます。古い信念体系や論理的な思考パターンを手放して、直観的な気づきの中に喜びと自由を感じることができるように導いてくれます。このフォーサイシアの明るい黄色は、きっと喜びをあらわしているのでしょう。

○ Mahonia マホニア <エクストラシングルエッセンス>

日本では近縁種のヒイラギナンテンをよく見かけます。ヒイラギナンテンの花期は3～4月、マホニアはやや遅く4月頃に黄色い花を咲かせます。このエッセンスは、マイナスの可能性に対する恐怖から私たちを解放します。この恐怖は心の深い部分に根ざっていて、しばしば私たちの成長を阻むものです。マホニアのエッセンスは恐怖の重荷を取り除き、心の中に閉ざされた愛を活性化することを助けます。

…フラワーエッセンスの基本的な使い方③…

飲用と外用のイメージの違いとしては、飲用は内面から、精神面に働きかける感じ、外用は外面への働き、たとえば外部の影響からの防御とか、局所的な使用とか、オーラのようなエネルギーフィールドに働きかける感じになります。